

平成27年第8回 昭島市教育委員会定例会議事録

日時：平成27年8月20日

午後5時30分～午後8時43分

場所：昭島市役所 市民ホール

昭島市教育委員会

○委員長（紅林由紀子） それでは皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから第8回教育委員会定例会を開会いたします。

まず初めに、本日は、年1回の夜間開催の日でございます。夕刻のお忙しい時間帯にたくさんの傍聴の皆様、お越しいただきまして、まことにありがとうございます。また本日は、中学校教科用図書の採択がございます関係で、市内の中学校、小学校の校長先生、副校長先生にもお越しいただきまして、まことにありがとうございます。多くの方にお集まりいただいている関係で、会場のレイアウトが少し変則的となりまして、多少、ご覧になったり聞いていただく関係で、ちょっと見づらかったり、聞きづらかったりがあるかと思いますが、申しわけございませんがご了承いただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

それでは、本日の日程は、お手元に配布のとおりでございます。

初めに、前回の会議録の署名についてであります。すでに調整を終わり、署名も得ておりますのでご了承ください。

次に、委員会規則第19条の規定に基づく本日の会議録の署名委員でございますが、5番の木戸委員と、1番の私、紅林でございます。よろしくお願いたします。

続きまして、日程4、教育長の報告をお願いいたします。

○委員（木戸義夫） 私のほうからは、東京都教育委員会から「小・中学校等における 特別の教科 道徳」の先行実施案が示されましたので、それについてちょっとお話をさせていただきたいと思っております。

昨年の12月、教育委員会で報告させていただきましたが、中央教育審議会による、昨年10月の「道徳に係る教育課程の改善等について」の答申を受けまして、文部科学省では、本年3月に学習指導要領の一部改正を公示いたしました。

そして「特別の教科 道徳」の施行について、小学校では平成30年4月1日から、中学校では平成31年4月1日からとし、平成27年度から移行期間に入る、としております。

移行期間中の教育課程上の位置づけは、従来どおり「道徳の時間」のままで、指導内容等については、改正された「特別の教科 道徳」に基づいた先行実施が可能とし、実施については設置者の教育委員会の判断とされたところであります。

文部科学省では、7月3日に「特別の教科 道徳」の指導内容の詳細について解説した「学習指導要領解説」を公表しており、27年度末に「評価等の在り方に関する専門家会議」の議論のまとめを公表する予定であり、これを受けて文部科学省は、指導と評価に関する指導資料の公表・周知と指導要録の改正を行うこととしております。

東京都教育委員会では、こうした国の動向を注視しつつ、都内の公立小・中学校等において、移行期間における先行実施が円滑にできるよう、区市町村教育委員会及び学校を支援することとしております。一つには、いじめ問題やグローバル化への対応、生命尊重の精神の育成についての充実など、新しい指導内容について、教科書が発行される前に先行して指導できるよう、平成28年2月に、各学校で活用できる教材・資料を作成し配布することとしており、また同時に、新しい学習指導要領の趣旨を踏まえた指導と評価の取り組みができるよう、平成28

年2月に、指導方法と評価の在り方に関する指導資料を作成し、配布することとしております。

また、各学校における組織的な推進体制の構築の支援として、道徳教育を推進するうえで核となる実践力となる教員を養成するための「東京都道徳教育推進教師養成講座」を実施し、各地区の拠点校を中心とし、校種別授業研究協議会を開催するなど、養成講座修了者を活用した取り組みを推進することとしております。

このように、平成28年度から都内の公立小・中学校、中等教育学校でいち早く先行実施ができるよう、支援をすることとしております。

私のほうからは以上ですが、教育委員会名義使用承認はお手元にご配布のとおり5件となっておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

教育長の報告が終わりました。

ただいまの報告につきまして、何かご質問やご感想、ご意見などございましたらお願いいたします。

「特別な教科 道徳」ということで先行実施のこれからの経過についてということでしたけれども。

特にはよろしいですか。それでは、本日この後いろいろとスケジュールが詰まっておりますので、また何かございましたら、その都度、質問をお願いいたします。

それでは以上で、教育長の報告を終わります。

続きまして、日程5、議事に移ります。議案第32号「平成28年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について」説明をお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 議案第32号「平成28年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について」ご説明いたします。

昭島市立学校で使用する教科用図書につきましては、教育行政の組織及び運営に関する法律及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、教育委員会の権限と責任において採択を行っております。

平成28年度から使用の中学校用の教科用図書が採択の年度に該当しております。また、平成28年度の特別支援学級用のものも児童・生徒の実態に応じて新たに採択する必要がございます。

平成27年6月教育委員会臨時会で報告のとおり、適正な採択を行うために、校長、副校長、学識経験者、保護者代表の方による中学校教科用図書選定資料作成委員会を設置し、4月から7月にかけて各教科の調査研究を調査研究部会で行い、先日、7月16日の作成委員会において、お手元に配布させていただきました資料「平成28年度使用昭島市立中学校教科用図書選定資料作成委員会調査結果報告書」を提出させていただきました。この資料等を参考にいただき採択を行っていただきます。

また、特別支援学級用の教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条において、文部科学大臣の検定を得たもの以外の使用が認められていますので、こ

れについては、毎年採択を行っております。そこで、別紙のとおり学校ごとに児童・生徒の実態に応じて採択する必要があるため、各校から調査報告が提出されております。

さらに小学校につきましては、平成 27 年度使用しているものと同一の教科用図書を引き続き採択することになります。

以上に基づき、平成 28 年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について提案させていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

議案第 32 号に、この教科用図書の採択にあたっては、平成 27 年度は平成 28 年度から中学校で使用する教科用図書の調査を行い、教育委員会で採択するために調査・研究が行われたという報告がありました。

選定資料作委員会よりその調査結果の報告がなされ、先ほど統括指導主事から説明がありました報告書が事前に委員の皆様が届いていると思います。

本日、作委員会委員長、副委員長及び各教科調査研究部会の部会長の出席をお願いしてございます。

委員の先生方の紹介をお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） では、私から作成委員会の委員の先生方を紹介させていただきます。まず、委員長、昭和中学校 中島校長です。

○昭和中学校校長（中島理智） 中島でございます。よろしくお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 副委員長、多摩辺中学校 井上副校長ですが、本日出張のため欠席をさせていただきます。

各調査研究部会の部長として、国語部会長、清泉中学校 田中副校長です。

○清泉中学校副校長（田中順子） 田中でございます。よろしくお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 社会科部会長、昭和中学校 井上副校長です。

○昭和中学校副校長（井上竜太） 井上でございます。よろしくお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 数学部会長、拝島中学校 渡辺校長です。

○拝島中学校校長（渡辺英俊） 渡辺でございます。よろしくお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 理科部会長、瑞雲中学校 香積校長です。

○瑞雲中学校校長（香積信明） 香積でございます。よろしくお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 音楽部会長、拝島中学校 岩永副校長です。

- 拝島中学校副校長（岩永英樹） 岩永でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 美術部会長、福島中学校 野中副校長です。
- 福島中学校副校長（野中 明） 野中でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 保健体育部会長、福島中学校 大竹校長です。
- 福島中学校校長（大竹宣行） 大竹でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 技術・家庭科部会長、多摩辺中学校 喜多野校長です。
- 多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 喜多野でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 外国語部会長、瑞雲中学校 齋木副校長です。
- 瑞雲中学校副校長（齋木伸郎） 齋木でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 続いて、特別支援学級の設置校の校長先生ということでご出席いただきました方がいらっしゃいます。重複されている方もいらっしゃいますが紹介させていただきます。
共成小学校長の石井校長です。
- 共成小学校校長（石井世津子） 石井でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） つつじが丘南小学校長の石川校長です。
- つつじが丘南小学校校長（石川博朗） 石川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 田中小学校、土屋校長代理として星野副校長が代理出席しております。
- 田中小学校副校長（星野典靖） 星野でございます。よろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 中学校です。
昭和中学校長の中島校長です。
- 昭和中学校校長（中島理智） よろしくよろしくお願いいたします。
- 統括指導主事（稲富泰輝） 多摩辺中学校長の喜多野校長です。

○多摩辺中学校校長（喜多野雅司） よろしくお願ひいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） なお、代理出席になっておりますが田中小学校長の土屋校長が岩泉国内交流事業の引率で欠席しております。

以上で紹介を終わります。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

担当していただきました先生方、本当にありがとうございました、ご苦勞様でございました。改めてお礼を申し上げたいと存じます。

それでは、審議に入ります前に、各教科調査部会の部長から報告書の説明と質疑応答に入りたいと思います。

初めに、全体をとおして、委員長の昭和中学校中島校長よりお願ひいたします。

○昭和中学校校長（中島理智） 私からは、これまでの選定資料作成委員会の経緯と全体を通しての説明をさせていただきます。

先ほど説明がございましたが、5月11日の調査研究部会総会のあと、各教科の調査研究部会が開催され、調査研究部会が報告書の作成にあたりました。そして7月16日、第2回目の選定資料作成委員会が行われ、各調査研究部会から調査研究の経緯及び結果報告がございました。その際、どこの部会からも調査したすべての教科用図書についての報告がございました。

項目は、「内容」と「構成上の工夫」に分けて、1教科1種目ごとに、A3用紙1枚にまとめております。

なお、市民からの意見につきましては、第2回目の選定資料作成委員会の際に、事務局から7月15日までに出された分につきましては報告がございまして、該当部分はどこにあたるのかを確認し、報告書の内容の訂正の有無について協議をいたしました。その後、委員会で内容について検討し報告書を作成いたしました。

なお、教科用図書の展示期間であった、残りの7月16日及び17日に出された市民からの意見については、このあと教育委員会事務局から報告があるかと思ひます。

以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

それでは、各教科の調査についての報告に入りたいと思ひます。

中学校につきましては、国語、書写、社会、地理の順に、最後の外国語(英語)まで、順次お願ひいたします。

それでは初めに、国語担当の田中副校長先生、お願ひいたします。

○清泉中学校副校長（田中順子） 田中でございます。国語の調査結果につきましてご報告いたします。

まず、東京書籍の「新編 新しい国語」についてです。内容の①、②、③に記載しておりますが、古典教材の取り扱いについて特徴的な面がございます。第一学年の古典の教材に「伊曾保物語」が扱われておりますが、第一学年の古典の教

材としては「竹取物語」が取り上げられることが多く、「伊曾保物語」が取り上げられることは少なく、分量が多く、難易度がやや高いと捕えました。

次に、学校図書の「中学校国語」ですが、内容①及び構成上の工夫①に記載いたしました。古典教材の配列に特徴的な面がございます。第一学年で「宇治拾遺物語」、第三学年で「枕草子」が扱われています。また、内容②に上げましたが、第三学年で取り上げている小説が、比較的新しい作品で読みやすいものを取り上げています。第三学年の作品は、高等学校への接続であると考え、もう少し難易度の作品を読ませたいとの意見が委員会では聞かれました。

三省堂の「現代の国語」ですが、内容④に記載いたしましたように、活字が小さく行間が狭く読みづらいとの意見がありました。

教育出版の「伝え合う言葉 中学国語」ですが、内容①に上げましたが、第三学年の説明的文章に特徴的な面があり、高等学校への接続であると考え、もう少し難易度の高い文章を読ませたいという意見がありました。また、構成上の工夫①に上げましたが、「聞くこと話すこと」の単元で取り上げられている表現・発表の教材は、分量が豊富ですが、指導上のねらいや授業での取り扱い方についてわかりにくいとの意見が一部にありました。

光村図書出版の「国語」については、内容①に記載いたしました。第一学年で取り上げている説明的文章は、文章の校正や読解の方法を指導しやすいものとなっております。また、構成上の工夫①に上げましたが、谷川俊太郎の「春に」など、以前掲載されていた良質な教材が、再度取り上げられております。

国語に関しましては以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいま、国語の報告がございましたが、ただいまの国語の報告に関しまして、委員の皆様から質問がございましたらお願いいたします。

小林委員。

○委員（小林和子） 教育委員の小林和子と申します。よろしくお願いいたします。

今、ご説明の中に古典に関しての説明がございましたけれども、どのような学習をしていくと生徒の発達段階に合わせることができるのでしょうか、その辺のことがわかりましたらお願いします。

○清泉中学校副校長（田中順子） お答えいたします。学習指導要領では、伝統的な言語文化に関する事項としまして、第一学年、ア、文語の決まりやの訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して古典特有のリズムを味わいながら古典の世界に触れること、イ、古典にはさまざまな種類の作品があることを知ること、第二学年、ア、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと、イ、古典に現れた物の見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること、第三学年、ア、歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと、イ、古典の一説を引用するなどして古典に関する簡単な文章を書くこと、とあります。

つまり、導入期である第一学年では、小学校における古典の学習を踏まえ、古文や漢文を繰り返し音読させる、そして第二学年でも朗読を繰り返しながら作品

の内面を味合わせる。第三学年では作品の歴史的背景などにも触れて、興味関心や内容理解を深める学習が生徒の発達段階には合っていると考えております。

したがって、古典の教材は、第一学年では竹取物語、故事成語、第二学年では枕草子、徒然草、平家物語、漢詩、第三学年では和歌、奥の細道、論語など、読みやすくよく知られた作品をていねいに学習させることが必要と考えます。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） ありがとうございます。よろしいですか。

ほかには何かございますでしょうか。

それでは、ないようですので、続きまして、書写について、田中副校長先生お願いいたします。

○清泉中学校副校長（田中順子） 書写の調査結果について報告させていただきます。

東京書籍の「新編 新しい書写」についてですが、構成上の工夫⑤に上げましたが、教科用図書のサイズがA B版ということでB 5判より大きくなっております。同様に学校図書の「中学校書写」もB 5版よりも大きめのサイズになっております。教室で書写の授業を行います時には、生徒用の机に道具を並べますが、B 5版の教科書を置いてちょうどぎりぎりの大きさになりますので、大きなサイズの教科用図書が使いつらいとの意見が多くありました。

三省堂の「現代の書写」は構成上の工夫②に記載しましたが、毛筆教材の分量が少なめでした。

教育出版の「中学書写」は内容③に上げましたが、補助線が入っており、字形を整え、文字の大きさ配列などの指導をしやすくする工夫がありました。また、構成上の工夫③に記載しましたとおり、書き順についての扱いが、ひらがな、カタカナを含めて丁寧に取り上げられていました。

光村図書出版の「中学書写」は内容①に挙げましたが、第一学年の最初の毛筆の課題が「地球」であり他の4社発行のものよりも難易度が高い課題が取り上げられております。

書写につきましては以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

ただいまの書写の報告につきまして、委員の皆様からご質問をお願いいたします。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 書写における学校行事との関連というのは、具体的にどのようなことを指すのでしょうか。

○清泉中学校副校長（田中順子） お答えいたします。例えば、光村図書出版の「職場体験の礼状」、教育出版の第二学年「校外学習を終えての学習新聞」、同じく教育出版第三学年の「志願理由書の書き方」など、学校、学年行事と関連した手本が掲載されていることと、とらえております。以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。よろしいでしょうか。
ほかにはなにかございますでしょうか。

○教育長（木戸義夫） 書写については、国語の教科書とセットして考えなくても構わないと、ばらばらでいいということですか。

○清泉中学校副校長（田中順子） ばらばらでも構わないというふうに捉えております。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
ほかにはいかがでしょうか。
ないようですので、以上で書写を終わりたいと思います。
続きまして、社会、地理につきまして井上副校長お願いいたします。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） それでは、社会科のまず、地理的分野についてご報告いたします。

まず、東京書籍についてです。内容に関しましては、発達段階に配慮され内容をおさえられております。導入の単元で、発展的内容が示され、関心を高められるようになっております。行間が広く、見やすい工夫がされているのも特徴であります。構成に関してです。配列・分量とも適切であります。各節の最初のページで全体像をつかみやすい構成となっております。単元のあとに学習活動に対する振り返りとそれを深めるページの提示がなされております。

教育出版です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容もおさえられております。単元のまとめで地名を確認する工夫がされています。図の色合いが淡い印象があるという意見がございました。構成に関してです。配列・分量とも適切です。作業のページなど、主体的な学習活動を促す配慮がなされています。

帝国書院です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容も十分におさえられております。文字の大きさや色づかいが視覚的に工夫されています。扱われている地図も見やすいものとなっております。また、身近な地域の学習の題材が東京都を扱っております。構成に関しましては配列・分量とも適切です。単元ごとに、導入のページで写真資料が多く示され非常に関心を高めやすい、またまとめのページでは、おさえたい内容を振り返ることができる工夫がされております。目次が端的に示され、調べやすいという特徴もございます。

日本文教出版です。内容に関しましては、発展的内容が扱われています。文章がとても詳細であります。文字が全体的に小さく色合いが薄い印象があるという意見がございました。構成に関しましては、世界の気候の扱いが世界の諸地域のあとに配置されているのが独特です。学習の振り返りなど主体的な学習活動を促す工夫がなされております。

以上、地理的分野の報告を終わります。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
ただいまの地理の報告に関しまして、委員の皆様からご質問をお願いいたします。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） 寺村です。よろしくお願いいたします。

身近な題材の学習、身近な地域の学習の題材というところで、昭島市の地域性との関連や何かはどうなのでしょう。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） お答えします。調査の結果、教科書会社によって特段、昭島の地域性に不適合であるというような意見はございませんでした。

ただ、東京書籍が、先ほど申し上げましたように、身近な地域調査に関しましては東京都を扱っているという点に関しましては、生徒にとっては親しみやすい部分はあるのかなという意見が一部にはございました。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、よろしいですか。

すみません、今どこの出版社が都内を扱っていると。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 帝国書院です。

○委員長（紅林由紀子） はい、わかりました。どうもありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。

それでは、ないようですので、以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

続きまして、歴史について、同じく井上副校長お願いいたします。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） それでは、社会科の歴史的分野についてご報告いたします。

まず、東京書籍についてです。内容に関しましては、発達段階に配慮され、基礎から発展までよく内容がおさえられています。本文が3文以上の文章が少なく、コンパクトで読みやすさを意識している印象がございます。構成に関しましては、1時間単位で授業を進めやすく、要点も確認しやすい構成になっています。各章とも2、3節で構成され、全体的なバランスに配慮されています。発展的内容を扱うコーナーや、本文の枠外に必要な資料が配置されています。各単元に生徒の関心を高める発問があり、思考力を問いながら学習を進める工夫がなされています。

教育出版です。内容に関しましては、発達段階に配慮する基本的な内容がおさえられています。各単元の見出しが特徴的で、生徒の関心を引く工夫がなされています。文の表記も工夫され、読みやすいものとなっております。構成に関しましては、小学校の既習事項を示すマークや、見開きの初めに年代を示すような工夫がなされています。

清水書院です。内容に関しましては、発達段階に配慮した基本的内容がおさえられています。文章が「である」調の表現で統一されているのが特徴です。構成に関しましては特集のページで内容を深める工夫がなされています。本文が

中央のほうに寄せられているレイアウトであり、サイズがB5版でコンパクトであるという特徴がございます。

帝国書院です。内容に関しましては、発達段階に配慮され基礎から発展までバランスよく内容がおさえられています。重要語句や難解な語句に丁寧に対応しております。構成に関しましては、資料が豊富で興味関心を高める工夫が随所に見受けられます。単元のまとめのページで、学習の振り返りができる工夫がなされております。

日本文教出版です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、基礎から発展まで内容が十分におさえられております。重要語句の扱いや思考を深める配慮がございます。文字がもう少し濃いとよいという意見が一部にございました。構成に関しましては、本文を補助する資料がとても豊富で思考を深めさせる発問も多く用意され、学習を深めやすい構成となっております。

自由社です。内容に関しましては、内容が十分におさえられており、古代史の扱いに特徴的な面がございます。「である」調の表現で統一されております。構成に関しましては用語の解説が充実しています。紙の質に光沢があり見づらい印象があるという一部の意見がありました。B5版でコンパクトであるということも特徴です。

育鵬社です。内容に関しましては、本文の分量が多く、文言の表現に特徴がございます。扱われている人物の数が非常に多く、説明が詳細でございます。構成に関しましては、全編を通じて見出しに通し番号がつけられています。歴史の名場面など興味を引く工夫がなされております。

学び舎です。内容に関しましては、各単元の分量がやや少なめであるという印象がございます。構成に関しましては、サイズがA4版で一回り大きいため、写真や資料が大きく載せてあり、とても見やすく興味を引くような構成となっております。

以上で歴史的分野の報告を終わります。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの歴史の報告に関しまして、各委員より質問がございましたらお願いいたします。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 社会科で、特に歴史などは資料の提示ということが大事だと思いますが、歴史の教科書においてその配慮するところはどんなところでしょうか。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 歴史的事象を学ぶ上で、資料はたくさんございます。その中で教科書に掲載されているものは限られたものとなっておりますので、広い視野に立って考察するためには、例えば教師がさまざまな補助資料を用意するなどして、多様な資料を基に、さまざまな視点から比較検討させることが大切なところかなというふうに考えます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

それでは、ほかにはいかがでしょうか。

それでは、すみません、私のほうから1点お願いしたいんですけども、教科書の説明文、分量がいろいろあると思いますけれども、書き方についてもいろいろあると思いますが、その教科書の説明文で配慮した方がいいというふうに思われるところはどこでしょうか。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 生徒の発達段階への配慮として、基礎的、基本的な事象を重点的に指導することとか、あるいは課題を設けて追及したり、意見を交換するなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力を高める、そのような配慮をすることが必要だと考えます。

○委員長（紅林由紀子） はい、わかりました。ありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは以上で、歴史を終わりたいと思います。それでは公民について、同じく井上副校長先生お願いいたします。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） それでは、社会科の公民的分野について調査結果をご報告いたします。

東京書籍についてです。内容に関しましては発達段階に配慮され、内容も十分におさえられております。地理や歴史との関連が示されております。学習のまとめや振り返りが適切に行える工夫があります。重要語句の解説も丁寧に扱われています。構成に関しましては、生徒の主体的学習活動を促す工夫がされており、毎時間ごとに言語活動の充実を意識した課題が設定されています。図表がわかりやすく、写真も良質なものが多い印象がございます。

教育出版です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容も十分におさえられております。学習のまとめや振り返りを行える工夫がされています。重要語句の解説が丁寧であります。構成に関しましては、図表、資料、写真が豊富で、本文と関連付けて関心を高め、考えさせる工夫がされています。

清水書院です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容が十分におさえられております。振り返りや思考を深める工夫が配慮されています。構成です。本文が中央寄せのレイアウトになっております。資料が大きめで見やすく扱われているという特徴がございます。

帝国書院です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容も十分におさえられております。学習のまとめや振り返りを行える工夫がなされています。構成に関しましては、資料や図表が多く、視覚的に理解を深めさせ考えさせることができるようになっております。

日本文教出版です。内容に関しましては、発達段階に配慮され、内容も十分におさえられています。豊富な資料が理解を助けています。構成に関しましては、発展的に学習に取り組むコラムなどが効果的に配置されているという工夫がなされています。

自由社です。内容に関しましては、文章による説明が多く、分量も充実しているが、資料が若干少なめであるという印象があります。単元ごとのまとめや思考

力を高める課題が多く設定されています。構成に関しましては、全体を通して通し番号が振られています。経済の領域の分量が端的でございます。

育鵬社です。内容に関しましては、文章による説明が多く、重要語句について丁寧に扱っています。単元ごとのまとめや思考力を高める課題が多く設定されています。構成に関しましては、資料が大きく提示されており、掲載量も多いものとなっております。

以上で公民的分野の報告を終えます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの公民の報告につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 公民は社会との関わりが非常に大きなものなのですが、個人と社会との関わりに関連した内容はどのようになっているのでしょうか。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 個人と社会の関わりに関する内容なんですけれども、生徒の身近な事例をふまえて社会との関わりに着目させようとしています。

例えば現代社会では、グローバル化、少子高齢化、情報化、あと政治のところでは、地方自治の分野におきまして、生徒が地域の課題解決に当たっている例や、東日本大震災に対する取り組みなどが扱われています。

教科書会社に関しましては、多く取り上げられているという会社が、帝国書院、自由社、東京書籍、このような調査結果が出ております。

○委員長（紅林由紀子） それでは、ほかには何かございますでしょうか。

それでは、1点私のほうからお願いいたします。

先ほどの言語活動が充実しているというような報告もいただきましたけれども、各社の言語活動の取り上げ方につきましてはどうなっているのでしょうか。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 言語活動の取り上げ方なんですけれども、説明をしたり、発表をしたり、話し合いをしたり、まとめ作業をしたりということなんですけれども、これは教科書会社によって取り上げ方に大きく差がございます。例えば先ほど申し上げましたが、東京書籍は、毎時間ごと、ページごとに思考力、判断力、渉外力を育もうというような工夫がされています。比較的大きく取り上げられている教科書会社は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版という報告がされています。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。

よろしいですね。それではこれで終わりたいと思います。

続きまして、地図につきまして、井上副校長先生お願いいたします。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） それでは引き続きまして、地図に関する調査結果の報告をいたします。

まず、東京書籍です。内容につきましては、基本的な事項がきちんとおさえられています。ただ、色の識別がしづらい印象があるという意見が一部にございました。構成に関しましては、多くの図版が載せてあり、配慮が広くなされているという報告がされております。

帝国書院に関しましては、まず内容に関しましては基本的な事項がおさえられております。構成上の工夫に関しましては、教科書の指導内容に合わせた図版が多く用いられており、バランスよく配置されていると。色合いが明確で読みやすい印象があるという報告がなされています。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

地図につきまして、何かご質問がございましたらお願いいたします。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） 地図のほうは先ほどの地理的分野との関連性も出てくると思うんですけども、その辺の関連づけはどうなんでしょうか。

○多摩辺中学校副校長（井上春好） 教科書にも地図がございますけれども、地図帳はより詳しい資料や、あるいはさまざまな側面から見る資料などが掲載してございます。そのため、生徒の知識を深めたり、あるいは発見した課題を関連づけたりしながら地域の特徴を深く考察できる、そのような扱いになっております。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。よろしいですか。

それでは、ほかには何かございますでしょうか。

ないようですので、続きまして数学に移りたいと思います。数学につきまして、渡辺校長先生お願いいたします。

○拝島中学校校長（渡辺英俊） では、数学につきまして報告をさせていただきます。

特徴的な面を中心に説明いたします。東京書籍、「新編 新しい数学」です。発展的な内容は1年生が少なくなっております。また、素因数分解が平方根の中に取り上げられているということがあります。また、構成上の特徴の③ですが、例と問いの間に確かめの問題があり、基礎・基本の定着につなげています。続いて、構成の④番です。インデックス表示が工夫されており調べるときにわかりやすくなっています。

続きまして、大日本図書、「新編 数学の世界」です。内容②学習単位が「導入問題」、「学習のねらい」、「学習活動」、「まとめ」、「基本問題」、という流れで構成されていて見開き2ページで完結しております。構成①、発展的な内容が各学年バランスよく示されております。また、素因数分解が文字式の因数分解の前にもうけられております。構成⑤です。章末問題で計算スペースなど、書き込みを入れ

る場所が広く教科書に書き込む形で演習を行うことができるようになっております。

学校図書、「中学校数学」です。構成①、発展的内容は3年生の問題が多くあります。素因数分解が文字式の因数分解の前にあるということがあります。構成②です、表ごとに余裕時数はあるんですけども、3年間のまとめといった形の時間を指すためには工夫が必要な形になっています。構成③です、計算力を高めようというところに工夫が見られました。

続きまして、教育出版「中学数学」です。内容①、巻末に小学校算数のまとめを設けてあり、また、章の前には第何章を学習する前にということで、さらには本文中にもわからなかったときに使えるようにということ、戻って書くというコーナーがあります。構成①です、発展的な内容は1年生が少なくなっております。構成③です、巻末の問題ですけども基本的な問題が少なく、活字が小さくなっております。

新興出版社啓林館、「未来へひろがる数学」です。内容①、脚注に「ふりかえり」、また、別冊が用意されており、そこで学び直しができるようになっております。構成①です、発展的内容は2年生の内容に多く示されています。構成③です、巻末に「力をつけようくりかえし復習」、それから「力をつけようまとめ問題」というのがありまして問題量が多く示されております。

数研出版「中学校数学」です。構成①です、発展的な内容はバランスよく示されております。続いて構成③、巻末に「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」というものがあり理解度に応じた問題が多く示されております。続いて構成⑤、章末問題などでは計算スペースなどで書き込める場所が広く、教科書に書き込む形で演習を行うことが可能となっております。

日本文教出版「中学数学」です。構成①、発展的な内容は各学年とも少なくなっております。構成③、巻末問題は基本的な振り返り問題が精選された形となっております。そして総合問題が多く示されております。構成④です、インデックス表示が工夫されておりわかりやすい形となっております。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） ありがとうございます。

ただいまの数学の報告につきまして、何かご質問がございましたらお願いいたします。

小林委員、お願いします。

○委員（小林和子） 数学では、少人数、習熟度別授業を行っていることが学校訪問とか学校公開とかでよく見かけるのですが、そのことに対しての配慮はどのようになっているのでしょうか。

○拝島中学校校長（渡辺英俊） お答えいたします。どの教科書会社も、補充問題あるいは発展的な問題を習熟に応じて取り組めるよう、章の終わり、あるいは教科書の巻末に、そういうコーナーを設けております。また本文中に発展的な問題を扱えるように配慮している会社もあります。またどの会社におきましても単元の前に

振り返りのページを設けておりますので、習熟の程度に応じて時間をかけ指導することができるようになっております。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） それでは、ほかには何かございますでしょうか。

それでは、私のほうから1点お伺いしたいんですけども、構成上の工夫の①の部分に、素因数分解と文字式の因数分解という部分が示されているんですけども、その関係はどのように配慮するのが昭島の子供たちにとって学びやすいかという点ではいかがでしょうか。

○拝島中学校校長（渡辺英俊） お答えいたします。特殊な例から一般化をしていく、それが数学的な考え方の一つであるというふうに考えます。そのことをふまえますと、まず、数をかけ算の形に分解をする、これが素因数分解です。それができるようになったあとに、次には文字と数字でできている式、つまり文字式なんですけれども、この文字式をかけ算の形に分解していく、つまり因数分解を行っていくという流れがより適切であるというふうに考えます。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、わかりました。ありがとうございました。

ほかにはございますでしょうか。

それでは、次に移りたいと思います。ありがとうございました。

続きまして、理科につきまして香積校長先生お願いいたします。

○瑞雲中学校校長（香積信明） それでは理科の報告をいたします。

東京書籍です。学年ごとに内容をまとめる工夫があって、配色・写真が鮮やかであるという意見がありました。ただ実験の方法に特徴的な部分がございます、今、実際使っている実験器具等を新しくしなければならないというような意見も出ておりました。それから巻末にペーパークラフトがつけられておまして、工夫されているなという部分もございましたが、紙の光沢がやや強いので見づらいという意見もございました。

大日本図書でございます。学年ごとに扱う内容をまとめていて、既習事項の確認や他教科の数学との関連が示される工夫がしてありました。それから、問題解決的な内容や日常の中での学習内容が取り上げられる工夫がありました。それから、単元のとびらに学習内容の説明、それから小学校の既習事項との関連が示される工夫がございました。そして実験等におきまして、注意事項が明確で、安全指導の際に活用できる工夫があるという意見がございました。

学校図書でございます。学習する時期、季節の示し方に特徴的な部分がございます、実際に指導する季節とのずれが生ずるという意見がございました。

それから続きまして、教育出版でございます。教育出版は、説明について端的に示されているという意見がございました。それから重要語句などの配色に特徴的な面があるというふうに記載しましたけれどもやや見づらい色の文字であるという意見がございました。

それから啓林館でございます。啓林館も学年ごとに扱う内容のまとめがございます。説明が細かく示されているという意見もございました。構成上の工夫として、教科書と別冊のドリルがございまして、それがついていることによって教科書の内容がかなり精選されている、それから別冊において基礎基本の定着がはかれるという意見がございました。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

ただいまの理科の説明につきまして、ご質問をお願いいたします。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） 理科では実験とか観察を行うことが多くありますけれども、教科書ではどのように扱っているのでしょうか。

○瑞雲中学校校長（香積信明） 各社とも各学年 40 から 60 ぐらいの実験あるいは観察を取り上げて、生徒の実験・観察等の活動の機会を保証しています。実験では先ほど報告したように安全に配慮した実験方法や器具の取扱いに注意させる工夫がなされています。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

ほかには、何かございますでしょうか。

それでは、私のほうからお伺いしたいんですけども、理科の学習では数学などとの関連、計算とかグラフを書いたりとか、いろいろそういう活用が必要になると思うんですけども、そういった面での各教科書の配慮という面ではいかがでしょうか。

○瑞雲中学校校長（香積信明） 実験とか観察の結果を表にまとめる、そういうことで考察が的確にできるようにする工夫がされています。また、実験の結果を、あるいは観察の結果をグラフを用いてより明確にするというような工夫がどの会社でも各社行っております。今、ごきます計算をするというのは、実際の実験の結果を計算するとか数学でいうとかなり数字の処理をするというような簡単な計算が多くございましてそれほど多く取り上げられているというふうな部分は各社ともございませんでした。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、わかりました。ありがとうございます。

○教育長（木戸義夫） 実験に関して、新しい機器が必要だという、今表現がありましたけれどもこれは各社共通しているわけですか、それとも特定な、東京書籍ですか、その部分だけでしょうか。

○瑞雲中学校校長（香積信明） 委員のほうからは、東京書籍の実験では新しい器具が必要であるというような報告がありました。

○委員長（紅林由紀子） ほかには何かございますか。

それでは続きまして、音楽(一般)について岩永副校長先生お願いいたします。

○拝島中学校副校長（岩永英樹） それでは音楽・一般についてご報告いたします。

学習指導要領の教科の目標である表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽を愛する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力をのばし、音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養うという観点に沿って2社を比較しました。

まず、教育出版に関してですが、全体的にカラーが多く、視覚的に生徒の興味を引く工夫がされております。また丁寧で詳しく発展的な内容となっております。一方、量が多く、音楽が不得意な生徒への配慮が必要となります。また発達段階に対する配慮に関する配慮に関しては、「ブルダバ(モルダウ)」は1年生にとっては難しく、配列に関してもオペラ「アイダ」の後に「勸進帳」の学習を行うという形になっていたほうが、生徒にとってはわかりやすいという意見がありました。教育出版に関しては以上です。

次に、教育芸術社になります。基本的な内容が取り上げられており、見出しなどわかりやすく示されていることや、書き込みのページが設定され学習を深める工夫が感じられます。また、歌唱、合唱の教材が多く、歌うことが好きな生徒が多い昭島市には適していると思われれます。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの音楽・一般の報告に関しまして、ご質問をお願いいたします。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 合唱曲を扱っていることは2社とも扱っていらっしゃるんですが、合唱コンクールとの関連で、教科書でどのように進めていますか。

○拝島中学校副校長（岩永英樹） お答えいたします。合唱コンクールは、生徒にとってとても大きな行事となっております。そのため、生徒が合唱コンクールの取り組みを通して自主的に活動し、自分の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深め、豊かな情操を養っていくことができるように、教科書をとおして音楽活動の基本的なことを指導します。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） ほかには何かございますでしょうか。

では続きまして、器楽合奏につきまして、岩永副校長先生お願いいたします。

○拝島中学校副校長（岩永英樹） 器楽合奏についてご報告いたします。

教育出版に関しては、カラーのページが多く視覚的に理解しやすい工夫があり、生徒の関心を引く内容となっております。しかし、普段接することが少ない曲が入っているなど、発展的でやや難しいという意見もありました。

次に、教育芸術社に関しては、音と音とのつながりにさまざまな強弱や表情をつけることで旋律を区分するアーティキュレーションが簡潔に説明されるなど基本的な奏法で取り組めるものが多く入っており、各楽器に関して初めて取り扱う生徒にとっては、学習しやすい表記、表現の工夫がされております。また、琴の「さくらさくら」に二重奏の楽譜があり、経験者にとっても楽しめる内容になっていて、初心者のメロディーと合わせて演奏させることができる構成となっております。また、アルトリコーダーに関しては、口の形など写真を使った説明の工夫があり、わかりやすい内容となっております。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの器楽合奏の報告につきまして、何かご質問ございますでしょうか。

それでは、私のほうからお願いしたいんですけども、いろいろな楽器の演奏方法、楽曲など載っていますけれども、中学校の音楽の授業の中で一番扱われる楽器は何かということをお教えいただきたいのと、それを教科書ではどのような配慮をされているかということについて教えてください。

○拝島中学校副校長（岩永英樹） お答えいたします。一番使われている楽器としてはアルトリコーダー、琴などが挙げられます。教科書での配慮に関してですが、アルトリコーダーに関しては詳しく説明があり、段階を踏んだ練習ができるような構成となっております。また、琴に関しましては、楽器の構造や調弦、基本的な奏法が説明されております。以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。

ないようですので、続きまして、美術につきまして、野中副校長先生、お願いいたします。

○福島中学校副校長（野中 明） それでは美術について調査結果の報告をさせていただきます。

開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3社について調査研究を行いました。それぞれの教科用図書について、内容及び構成上の工夫について特徴のあったことについてご報告をさせていただきます。

初めに、開隆堂出版でございます。内容については、④表記や表現というところで、生徒と作家の作品がバランスよく、また可能な範囲で原寸大の作品を見本として掲載しており、表記や表現に対する配慮がなされています。構成上の工夫については、1年生では各分野の基礎的なことがわかりやすく構成しつつ、作品の構成までを視覚的に生徒が感じることができるように、全体の構成を見通すことができる配慮をしているというふうに調査をいたしました。

続いて、光村図書出版でございます。内容については、1年生では各分野の基礎的なことを図版で紹介し、発展的な内容につなげるということで、2年生、3年生では題材別に構成をしております。構成上の工夫については、各分野の教材に対して生徒作品や、そしてその制作の過程を図版で示すことにより、生徒が作品の制作に当たる際に、自分自身の作業の流れがわかるように配慮をしています。

日本文教出版でございます。内容については③、2、3年生はあえて上下巻に分け、内容や題材に広がり工夫、深さを持たせている工夫があると思われま。要点や考え方など、文字の大きさなど、図版を用いて見やすく配慮しているというふうに考えております。構成上の工夫については、作業工程など図解や大きな図版などを使って、特に鑑賞の授業など学習活動がスムーズに進行するよう配慮されているというふうに調査をいたしました。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） 昭島市の地域性で、昭島市の生徒との実態に合わせた工夫というものはどういうふうになっているのでしょうか。

○福島中学校副校長（野中 明） ではお答えいたします。

今、昭島市で生活をしている生徒さん、それからこれからも昭島市で生活をしていく生徒さん、各教科書ともに、昭島市ということを用いよりも、暮らしとしてまちづくり、それから環境、自然というように、それぞれ教科書の中で扱う題材を設定することで、生徒さんがこれからどうやって生きていくか、その生活をデザインをする、考えていくという工夫を、それぞれの教科書で題材として扱っております。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。

ないようですので、続きまして、保健体育につきまして、大竹校長先生お願いいたします。

○福島中学校校長（大竹宣行） では、保健体育のほうですが報告させていただきます。

4社ありまして、まず東京書籍、内容についてですが、自分自身のこととして考える設問やコラム等の工夫が見られます。構成上の工夫、内容、組織、配列及び発展的な系統的に対する配慮がなされている。保健体育分野が学年ごとにまとまっているところが見られます。

大日本図書です。内容として自分の体や生活について振り返る設問があり、自分自身のこととして考えやすい工夫がしてあります。構成上の工夫ですが、基礎的な内容と発展的な内容の関連が見られ、トピックスなどの分量が多く示されています。体育分野が前半のほうに示されているのが特徴的です。

3社目、大修館書店です。内容について、見出しに色等のわかりやすさを示されており、キーワードが端に示されています。イラストや写真の一部に特徴があり、文字のところに色がついているのが特に特徴があるところであります。構成上の工夫について、教材の示し方に工夫があり、補助的な資料が多く示されています。その補助資料のまとめの内容に特徴があり、非常にいい部分ですが、文字が全体的に小さい点が気になっています。

学研教育みらい。内容、指導の内容が細かい部分まで表記がされています。例題もわかりやすく、発達に沿った内容が示されています。生徒の発達段階に対する配慮もしてあります。構成上の工夫、用語の確認が示されており、工夫があります。章のまとめがあり、まとめることから自主的な活動につながる工夫ができると考えられます。

以上です。

- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
ただいまの保健体育の説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。
小林委員、お願いいたします。
- 委員（小林和子） 今、体力をつけるということはとても重要だと思いますが、その生徒の体力を高めるための内容はどのようになっていますでしょうか。
- 福島中学校校長（大竹宣行） それぞれの教科用図書で工夫はなされているんですが、特に学研教育みらいのほうでは、構成上の工夫の点で、内容を組織、配列、発展的な系統に対する配慮がありまして、ウォーミング・エクササイズ・活用の工夫があり、体力を高めることを意識された内容になっているようです。
以上です。
- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
ほかには何かございますでしょうか。
それでは続きまして、技術につきまして、喜多野校長先生、お願いいたします。
- 多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 本部会では内容構成に関しまして、わかりやすさと知識・技能の定着、興味・関心への配慮、現代的課題への対応、これらをポイントとして調査を行いました。その結果をご報告いたします。
まず、東京書籍ですけれども、ガイダンスの内容が充実し、小学校や他教科との関連も充実しています。また写真やイラストを多く用い、実験ではつまづきやすい作業には例を示して丁寧に説明され、知識・技能の面で理解を促すものとなっているという点から、わかりやすさを重視した内容となっております。さらには関連する内容が、各ページに掲載されており、実習に際して安全への配慮も十分であることから、知識・技能の定着の面で確実なものとなっています。そのほか、キャラクターを多くに登場させ、Q&Aの場面を設定するなど、生徒の興味・関心を促す工夫が随所に見られます。なお、加工の分野で難易度別の実習例が9例示され、「生活に生かそう」のコーナーや、職業人のコメントをふんだんに取り

入れるなど物づくりへの扱いや活用力の育成、キャリア教育への配慮という現代的な課題へも十分にアプローチしたものとなっております。したがって、昭島の生徒にとっては必要なものがきわめて多く含んだ教科書であるといえます。

2社目の教育図書ですが、ガイダンスが少なく、内容的にハイレベルな傾向があります。また、実習に関しては、写真・図を適切に用いているという点から理解が一定水準に到達した生徒に学習効果が現れるものとなっております。このほか手書きの図が用いられていることから、生徒にとって親しみやすさが生まれるよう工夫されており、加工の分野では、実習例を標準的に7例取り上げています。したがって、昭島の生徒には理解の面で特定の配慮や工夫が必要となる教科書であるといえます。

3社目の開隆堂出版ですが、ガイダンスの内容は標準的で、小学校での学習と中学技術分野との関連が示されているという点から、わかりやすさに配慮が見られます。また、まとめや振り返りを多く掲載していることから、定着度を高める工夫も見られます。さらには、「考えてみよう」「調べてみよう」のコーナーを設け、生徒が積極的に学習に取り組めるような機会も与えています。なお、加工の分野で実習例を8例取り上げ、物づくりに対する扱いは丁寧といえます。したがって昭島の生徒には比較的学习効果の期待できる教科書であるといえます。

以上であります。

○委員長（紅林由紀子） ただいまの技術・家庭、技術分野の報告に関しまして、各委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） この技術分野では、事故や何かも多いと思うんですけども、安全に関することについてはどのように扱われているのでしょうか。

○多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 東京書籍が、一番数多く取り上げ、内容も丁寧です。続きまして、教育図書、開隆堂出版の順になっております。具体的には、東京書籍は38例、示しています。教育図書は31例、開隆堂出版は28例扱われております。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

それではないようですので、続きまして、家庭について同じく喜多野校長先生お願いいたします。

○多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 家庭につきましても、技術と同様、わかりやすさと知識・技能の定着、興味・関心への配慮、現代的課題への対応を重視しながら調査を行ってまいりました。結果をご報告いたします。

まず1社目、東京書籍ですが、目次が細かく、表の中の文字はやや小さめですが、基礎基本が重視され、解説も丁寧です。また、各種マークがうまく使用され、

本文の文字も大きく見やすくなっています。この点から、わかりやすくなるような工夫が見られます。このほか、自己評価Cの場合、Cというのは悪いということです、自己評価Cの場合、復習ページが表示されているように、学習内容の確実な定着をはかる工夫も見られます。さらには、クイズ形式で学べる豆知識というコーナーを設け、興味・関心を促しながら発展的に学習できる配慮が見られます。したがって、昭島の子供たちには学習効果が比較的期待できる教科書であると言えます。

2社目、教育図書ですが、資料集を必要としないほど内容が豊富である反面、文字の量も多く、目次や表の中の文字はやや小さめです。この点から生徒が学習内容を理解するには、指導の面で配慮が必要です。また、キーワードチェック、学習の振り返りのコーナーが設定されており、学習ポイントが明確で、自学自習に適していることから学習内容の定着を図る工夫は見られます。さらには、イラストなどを用いて身近な問題として考えやすいように、興味・関心を高める工夫も見られます。したがって、知識・理解の面で配慮を行えば、学習効果が期待できる教科書であると言えます。

最後に開隆堂出版です。目次が大まかな部分と詳細な部分の2段階で構成され、学習の流れが大変わかりやすいものとなっています。また基礎基本を丁寧に扱い、写真やイラスト、太文字を効果的に活用して表の中の文字も大きくするなど、学習内容の理解を促す工夫が随所に見られます。このほか、現在学習しているものと関連する内容が示されていることに加え、学習のまとめのコーナーでは、わからなかった場合の復習箇所が明示されていることから、知識・技能の確実な定着を促すものとなっています。さらには、写真を豊富に活用するとともに、豆知識のコーナーでは、日常生活に便利な情報が取り上げられており、興味・関心を高める工夫も見られます。なお、食育における家庭科分野の役割が明確に示されESD教育など現代的な課題に積極的にアプローチしたものとなっております。したがって、昭島の子供たちには、学習上、必要なものが大変多く含まれた教科書と言えます。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの家庭の説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 今、食育も大変重視されていますが、その食育に関しての工夫はどのようなものになっているのでしょうか。

○多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 工夫の一つとしては、見開きでどの教科書も全国各地の郷土料理を取り上げています。それぞれにとってもわかりやすく興味・関心を促すものとなっております。繰り返しますが、ことに開隆堂出版では食育と家庭科分野での役割というのが明確にされて、その内容も充実しているところです。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

ないようですので、それでは続きまして、外国語(英語)につきまして齋木副校長先生、お願いいたします。

○瑞雲中学校副校長（齋木伸郎） 英語でございます。

まず、東京書籍。内容・構成とも発達段階にあわせてバランスよく配置されているというふう感じられます。ただ、教科書のサイズとしましてB5変形版ということで、中学校の机の大きさ等を考えた場合、多少使いづらい面もあるのでという意見も部会の中では聞かれました。

開隆堂出版です。内容に関しまして、絵や写真が多くバリエーションが豊かである、また構成上の工夫としましてはわかりやすく工夫されていると感じられます。ただ、内容①、受動態と現在完了形が一緒に示されるなど、文法事項が多少盛りだくさん過ぎるところがあるのではという意見もございました。教科書のサイズはB5変形判です。

学校図書です。内容に関しましては図や写真が多く示されていたり、また、1年生と2、3年生で字体を変えるなどの工夫がされておりました。構成上の工夫としましては、発達段階に応じてバランスよくさまざまなものが配置、配分されていると感じられます。教科書のサイズはB5版です。

三省堂です。内容に関しまして、新出単語や英文法など、わかりやすくまとめられております。また、構成上の工夫としましては、文法の1年間のまとめがわかりやすく構成されているといった工夫が見られます。ただ、内容の③、④あるいは構成上の工夫の②、③にありますように、さまざまなことの分量が多く盛りだくさん過ぎるところがあるのではといった意見も聞かれました。教科書のサイズはB5変形判です。

教育出版です。内容に関しましては、人物や行事など多様なものを興味を引くような形で取り上げている工夫がございます。また、構成上の工夫としましては、別冊としてシート問題集が添付されているということが特徴であると思われまます。ただ、内容の②、文法の重要文が本文の中で示されているだけです。他の主語や動詞を使ってさまざまな文に触れさせたいというような意見もございました。教科書のサイズはB5版です。

光村図書出版です。内容構成上ともに大変発展的な内容のものが多くというのが一番の特徴であると思われまます。このようなことから、例えば内容の④、単元の基本となる文法を使った文が精選されておるため、基本となる文が、多少少なくなっているのではという意見もございました。教科書のサイズはB5変形版でございます。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） ただいまの英語の説明につきまして、何かございますでしょうか。

それでは、私のほうから2点お伺いしたいんですけども、まずこの報告書に記載されております内容⑤、昭島市の地域性に適しているかという部分の回答、

学校図書と三省堂に書かれています、「外国の方が居住している昭島市の実態に合っている」という部分が、ちょっと具体的にはどのようなことを指しているのかということをご説明いただきたいというのが1点目です。

そして2点目は、この教科書を見まして、学校図書が例えば現在完了とかそういった文法の名称が、タイトル部分に挙がっていなかったように思うんです。文法の名称がありますよね、現在完了形とか、そういった部分が、本のタイトル部分に抜き書きされていなかったと思うんですけれども、そういった部分は指導上、特に問題がないのかという部分を、すみません、ちょっと2点お伺いしたいんですけれども。

○瑞雲中学校副校長（齋木伸郎） 1点目なんですけれども、ともに国際的な視点で外国語に触れているということでこのような表現にさせていただいております。

続いて2点目のことなんですけれども、まずは英語に親しんでいこうという視点から文法のみにとらわれずに学んでいくという形のところから、こうなっているものであると思われま。

○委員長（紅林由紀子） それでは特にそれが問題はないと。

○瑞雲中学校副校長（齋木伸郎） 特に問題になるようなことはないと思われま。

○委員長（紅林由紀子） はい、わかりました。ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。特にはよろしいですか。

それでは、以上で中学校の説明が終わりました。

事務局より7月16日、17日に届きました市民の皆様からの意見文は何かございますでしょうか。

○統括指導主事（稲富泰輝） 選定資料作成委員会後に届いた意見について3点ございましたので紹介させていただきます。

1点目は、中学校の歴史公民分野の教科書採択についてのご意見をいただいて、いろいろな考え方がありますので、特定の教科書のことについてのご意見をいただいているところがございます。こちらについて1点ございました。

2点目、木曜日に投函されたもので、まず現場の先生方の意見を反映していただきたいということ、そして歴史的分野の教科書の中で、戦争に関する記述のところではかなり教科書会社によって差異があったのではないかというご意見がございました。

3点目は、17日金曜日に投函があったもので、こちらも歴史的教科書のことについて、やはり表記についてさまざまなものがあるということがございました。

こちらについて、3点の意見がございましたことを紹介させていただきます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

この意見につきまして、委員の皆様から何か確認しておくこととか、何か質問しておきたいこととか何かございますか。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 今ご説明のありました2点目の、現場の先生方の意見を尊重してほしいということは、全くそのとおりだと思います。実際に生徒に教えるのは先生方なわけですから、やはりここに今調査報告書をいただきましたけれども、この中で先生方がこういう点がよいというようなことをたくさん挙げられている、そういうことを参考に採択したいなと思います。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは、続きまして特別支援学級の説明をお願いいたします。なお、特別支援学級の調査研究の本につきましては、奥に、あちらに展示しております。必要がある場合には事務局職員のほうに声をかけてください。

それでは初めに、小学校の特別支援学級設置校であります共成小学校、石井校長先生をお願いいたします。

○共成小学校校長（石井世津子） 共成小学校の石井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

平成28年度の特別支援学級の教科用図書の選定についてご報告いたします。

特別支援学級の子供たちの学習活動を円滑に進めるため、次のことを考慮して選定を行いました。まず1点目は、個別指導計画に基づいて、子供一人ひとりの実態に応じたもの、そして現在の伸び具合から、今後の成長を考慮して慎重に教科書を選定いたしました。

2点目は、現在使用している教科書との連続性や系統性に配慮するということです。現在使用している教科書の内容を基に、次年度の学習内容として適切であるかということも考慮しました。例えば、ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編②では、運筆、なぞる活動があります。手の力、圧の弱い子供も、線やひらがなを鉛筆以外の、クレパスやサインペンでなぞることができます。ひらがなについては1字ずつなぞることができます。「手」という一文字の字、手の形、これを見ながら点線を追ってなぞるということもできます。その学習を通して、次の年に「こくご」①を選定しますと、物と言葉が一致してきます。音読も少し出てきます。「池の中の鯉」など、このように連続性や系統性に配慮して選定いたしました。

また、通常級の教科書を選定する際は、全部は使いませんが、発達にあつたものを用いていきます。子供にとっては、お話を楽しめる子供もおります。短編がいろいろありますので、絵本1冊読むより読みやすく、力もついていきます。

3点目は、子供が興味関心を持って学習に望むことができるように配慮して選定いたしました。子供が興味関心を持てるように、視覚に訴える面も重要になります。文字の大きさやわかりやすさ、配色、絵など、子供にとって心穏やかなものも考慮いたしました。

学習の形態としては、グループでも活動を行うことから、高学年が同じ教科書を使って学習することも考慮しています。またその反対に個人差が見られる教科

もあります。算数などは特に個別の教科書を選定し、子供の力を高める、このような選定を行いました。

教科によっては通常学級で交流学习を行う子供もおります。本校でも力を入れている一つですが、社会科見学などの交流もあります。通常級と一緒に勉強したときに学習できる者を大切に選定いたしました。

また、6年の児童におきましては、進路を考慮しての選定もいたしました。学年が進むにつれて、教科学習の中で自立や公共でのマナーについても学ぶことを大事にしております。電話やメールの利用、マナー、手紙の書き方、実生活に役立つ内容など、具体的な学習を考慮して選定いたしました。

このように選定を行いましたが、選定するに当たっては、子供の自尊心を傷つけずに意欲を引き出せるように慎重に考えました。どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの共成小学校の報告につきまして、何かご質問がございましたらお願いいたします。

特にはよろしいですか。ありがとうございました。

それでは続きまして、つつじが丘南小学校、石川校長先生お願いいたします。

○つつじが丘南小学校校長（石川博朗） つつじが丘南小学校校長の石川でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、本年度をもって閉校いたします。平成28年4月、つつじが丘北小学校と統合を経て、つつじが丘小学校として新しく開設されます。本校に現在設置されています知的障害の個別支援学級「杉の子学級」を一時、閉級をいたします。しかし、新たにつつじが丘小学校で設置される予定になっております。そこで使います教科用図書についての選定ということでご承知おきいただきたいというふうに思います。

今回の選定に当たり、まず考慮しましたことは、障害の実態差が大きい児童一人ひとりの個別指導計画との整合性及び指導の系統性、これを考えました。本校の特別支援学級の児童は、一人ひとりの障害の状態、入学前からこれまでの生活経験、学習経験の内容や程度、興味や関心、対人関係の広がりや適応などの状態が多く異なります。それらを考慮しながら、本校では一人ひとりの児童の知的障害の状態や経験等に応じて、また、保護者の考えを受けて、一人ひとりの個別指導計画を策定しています。

まず、現在在籍します児童の個別指導計画をふまえながら、より学習の効果の高いものを次年度の教科用図書として選定をいたしました。選定に当たりましては、児童が見通しを持って意欲的に学習活動に取り組みやすいかということを考えました。児童の興味関心を考慮しつつ、実生活で活用できる内容を取り入れているか、定着に向けて継続的な取り組みがしやすいか、視覚的にとらえやすいかなどの観点から選定いたしました。

また、インクルーシブ教育推進の動向をふまえ、共同、交流学习の充実という観点から、通常の学級で使用しています文部科学省検定済み教科書をなるべく多

くの児童が活用するよう計画しています。

本校では、特別支援学級の児童が通常の学級へ行き、一緒に学習を進める共同学習を学級経営、指導の重点の一つとして取り組んでおります。これにつきましては、新校におきましても継続していくつもりでございます。そういう意味で、文部科学省検定済み教科書をなるべく多くの子供が使えるよう選定をいたしました。

今回の選定に当たりまして、本校では今一度、本校の教育課程、あるいは特別支援学校の学習指導要領、特別支援学級の教育課程編成の手引きなどを確認いたしました。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願いします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまのつつじが丘南小学校の報告に関しまして、委員の皆様から何かご質問はございますでしょうか。

とくにはよろしいですか。それではないようですので、続きまして、田中小学校の報告をお願いいたします。

○田中小学校副校長（星野典靖） 副校長の星野と申します。よろしくお願いいたします。

本校でも、児童一人ひとり、発達段階ですとか学びの様子、個別指導計画との整合性、そこを基盤に置きながら選定を行ってまいりました。その中で関心・意欲をいかに高め、学ぶ意欲につなげるか、それが実現可能な教科書ということで選ばせていただいております。その中でやはり、通常の学級と縦割り班ですとかいろいろな交流活動を行っていますので、あまりにもそこでかけ離れたものであると、そこでのまた結びつきが弱くなるということもありますので、その交流ということも意識しながら選定をさせていただきました。そのためには、ここで選定した教科書をいかに活用し、子供が主体的に学ぶか、それも一つの指針として判断材料とさせていただきました。

それと本校で大事にしていることは、生活に生かすということです。生活に生かすということをやはり大切にしていかなければ、今、いろいろ言われています規範意識をいかに高めていくか、安全教育に対してどのように子供たちが自分の身を守るか、あと、健康やスポーツ教育の基盤となります食育、そういうところに自分の考えをいかに持っていくか、そういうような部分についても選定の判断材料としてまいりました。

簡単ですがご報告させていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（紅林由紀子） 星野副校長先生ありがとうございました。

ただいまの田中小学校の報告に関しまして、ご質問ございますでしょうか。

続きまして、それでは昭和中学校、中島校長先生お願いいたします。

○昭和中学校校長（中島理智） 昭和中学校でございます。

本校でも、それぞれの生徒の興味、関心、課題を考慮し個別指導計画を策定し、

これに基づき円滑な学習活動が行われるよう、生徒の実態をふまえた上で教科用図書を選定し使用しております。

本校では、教科用図書の系統性などを重視し、検定本を使用することを基本としておりますが、生徒個々の実態により、ゆっくり学ぶ、繰り返し学ぶ、自ら学ぶなど、検定本を使用することが難しいような場合、それ以外の教科用図書を使用して授業を進めております。

特に選定に当たって配慮したことについては、1、学習意欲の喚起と集中力の持続につながるものであること、2、一人ひとりができた喜びを実感できる学習活動につながるもの、3、生徒が一人でも独力で学習が継続できるもの、これらを視点に選定いたしました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの昭和中学校の報告につきまして、何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは続きまして、多摩辺中学校、喜多野校長先生お願いいたします。

○多摩辺中学校校長（喜多野雅司） 多摩辺中学校でございます。

本校でも個々の生徒の特質や発達段階に即しまして、もっともふさわしいであろうと思われる教科書を選定してまいりました。結果として、教科によっては小学校の教科書を選んでいるところですが。特に数学に関しましては、基礎基本の確実な定着とともに、関心や意欲が高まるかどうかについても選定の十分な要素として考えたところです。

なお、28年度は社会科で公民的分野を学習していくために、公民的分野の教科書を選んだところです。一人ひとりの特質に応じて通常級での学習を可能となるように学習を支援していきたいなというふうを考えておりますし、今年度もその形となって表れてきているところです。

本校でも個別指導計画に基づき、生徒が自立の力を一人ひとりの歩幅で確実に身につけていけるように取り組んでまいります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ただいまの多摩辺中学校の報告につきまして、何かご質問がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、この後、採択に関する審議に入ります。特段、ご質問などないようでございますので、それでは今一度、何かご質問など今までのところでまとめてなにかございますでしょうか。

木戸委員、お願いいたします。

○教育長（木戸義夫） 調査研究に当たられた先生におかれましては、大変ご苦労さまでした。大変細かく調査していただきとても参考になりました。ありがとうございました。

ました。

一つだけ確認をしたいんですけども、国語の書写のところでお聞きしましたが、改めてお聞きしますが、この教科はぜひ同一の出版社のものを採択してほしい、あるいは採択したほうがより学習効果が上がるというような、セットになるようなものがもしあるのであれば、今のうちに言うておいていただきたいと思います。参考にしたいと思います。もしなければそのままでもよろしく願いいたします。

○委員長（紅林由紀子） この件につきましてはいかがでしょうか。

○昭和中学校校長（中島理智） 先ほど教育長のほうから国語のところでご質問があったとおり、各調査部会研究会のほうから報告がありましたとおり、あくまで昭島市の中学生、子供たちの実態に合った教科書を選定していただくということだと思いますので、結果的に同一の教科書会社ということになることもあるかもしれませんが、基本はやはり昭島の子供たちの学力の向上、どのように円滑に学習活動が進められていくか、実態をふまえた上で選定していただくことで結構だと思います。よろしいでしょうか。

○委員長（紅林由紀子） よろしいですか。

○教育長（木戸義夫） はい。

○委員長（紅林由紀子） ありがとうございます。

それでは、ほかには何かございますでしょうか。

それでは、これ以上特段ご質問がないようでございますので、校長先生、副校長先生の皆様にはここでお引き取りいただきます。

本日は、時間外にお忙しい中、わざわざお越しいただきまして、大変ありがとうございました。

（ 校長・副校長退席 ）

○委員長（紅林由紀子） それでは、引き続き、先ほどの各教科からの報告、説明に基づきまして、採択に関する審議に入ります。

これから審議に入りますが、審議の進め方についてお諮りいたします。

議案第32号「平成28年度使用昭島市立中学校教科用図書の採択について」国語から外国語（英語）までの9教科15種目について国語から順番に審議していきたいと思います。1教科1種目ずつ行います。

なお、決定は1教科・種目ごと無記名投票で行いたいと思います。

このような進め方でよろしゅうございませうか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（紅林由紀子） ご異議なしということですのでよろしく願いいたします。

それではご了解いただきましたので、その順序に従って進めてまいります。

なお、中学校の教科用図書の採択が終了しましたら、その後、続きまして特別支援学級の教科用図書の採択を行います。

それでは最初に国語から始めます。お手元の報告書、先ほどの質疑応答の内容等を参考にして判断をしていきたいと存じますがよろしいでしょうか。

それでは、国語は5社ございます。ご意見などございましたらお願いいたします。

○教育長（木戸義夫） 私は、各出版社の教科用図書を拝見させていただいて、生徒が興味を持って学習できるよう各社それぞれ工夫がなされて、どれも素晴らしいと評価しております。

選定に当たってはまず段階に追って知識を深められるような生徒が学習しやすいもの、これが第一、そして教員にとって指導しやすいもの、こうした点を基本に、今、発表していただいた調査研究部会の調査結果を十分に参考にさせていただき、選定したいとそうように考えております。

以上です。

○委員長（紅林由紀子） ご意見ありがとうございました。

ほかの委員の皆様はいかがでしょう。

寺村委員、お願いいたします。

○委員（寺村豊通） 私もこの調査結果報告書の内容を基にしながら、あと学校の先生の負担云々ということもありますので、継続性と兼ね合いも含めて選んでいきたいと思っています。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 同じことになりますが、私も先ほど申し上げましたように、やはり現場で指導なさる先生方が一番使いやすい、使いやすいというか、子供たちの発達段階に合わせて、こういうのがいいという資料をくださいましたので、これに基づいてよりよい教科書を選びたいと思います。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかにはよろしゅうございますか。

それでは、皆様のご意見をいただきましたので、ここで無記名投票により決定したいと思います。

では、投票のほうをお願いいたします。

（ 投 票 ）

○指導課長（岡部君夫） それでは、国語科の投票結果をご報告いたします。

光村図書出版が5票でございます。以上でございます。

- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
国語につきましては、光村図書出版ということでございます。
それでは続きまして、書写を行います。書写は5社ありますけれども、ご意見などございましたらお願いいたします。
- 委員長（紅林由紀子） ないようですので、恐らく皆様、先ほどと同じということなのかなと思いますけれども、それでは、投票のほうを行ってください。
(投 票)
- 指導課長（岡部君夫） それでは、書写の投票結果をご報告いたします。
教育出版5票でございます。以上です。
- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
書写につきましては、教育出版ということでございます。
続きまして、地理を行います。地理は4社ありますが、ご意見などございますでしょうか。
特にはよろしいですか。
ないようですので、それでは投票をお願いします。
(投 票)
- 指導課長（岡部君夫） それでは、地理の投票結果をご報告いたします。
帝国書院4票、東京書籍1票でございます。
- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
地理につきましては、帝国書院ということでございます。
続きまして、歴史を行います。歴史は8社ありますけれども、ご意見などございましたらお願いいたします。
歴史につきましては、大変たくさん教科書がございまして、私も大変悩みましたけれども、やはりこれからは子供たちにとって非常に大事な部分、特に私が先ほど質問させていただきましたような意見を交換したり考える力を養うという点を非常に重視して、また先生方の扱いやすさ、子供たちの発達段階に対して、を考えて選びたいというふうに私は思いました。
ほかには何かございますでしょうか。
それでは、投票をお願いいたします。
(投 票)
- 指導課長（岡部君夫） それでは、歴史の教科書の投票結果をご報告いたします。
東京書籍3票、日本文教出版1票、帝国書院1票でございます。
- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
歴史につきましては、東京書籍ということでございます。
続きまして、公民を行います。公民は7社ありますけれどもご意見などござい

ますでしょうか。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） この分野はやはり社会との関わりということで、生徒たちが興味関心を持てるような導入の工夫とか題材の扱い方とか、そういうものを、あとほかにもいろいろ資料等も充実したもの、そんなもので選びたいと思います。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかの委員の皆様、何かございますでしょうか。

私も先ほど同様、質問させていただきましたように、これからの子供たちが自分たちで考えられるようなそういった表現力、話し合い活動、そういった面を重視したような授業展開になることがふさわしいのではないかというふうに考えて選びたいというふうに思っております。

それでは、投票をお願いいたします。

（ 投 票 ）

○指導課長（岡部君夫） それでは、公民の投票結果をご報告いたします。

東京書籍3票、教育出版2票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

公民につきましては、東京書籍ということでございます。

続きまして、地図を行います。地図は2社ありますが、何かご意見などございますでしょうか。

ないようですので、投票をお願いいたします。

（ 投 票 ）

○指導課長（岡部君夫） 地図の投票結果をご報告いたします。

帝国書院5票でございます。以上です。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

地図は、帝国書院ということでございます。

続きまして、数学を行います。数学は7社ありますが、ご意見などございますでしょうか。

○委員（小林和子） 生徒たちが自主的に学習ができたり、繰り返し学習ができたりという、そういう自発的な学習を促すようなものがないなと思います。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

そうですね、私はやっぱりいろいろなところでふとつまずいてしまうということがある数学は、どんどん難しくなっていくので、積み重ねということがございますので、小学校時代の既習事項の振り返り、そこがつまずいたときにはまた戻れる、そして何かしらつまずいてしまうようなちょっと難しいような表現ができ

るだけない、わかりやすいということを考えて選びたいというふうに思っております。

ほかには何かございますでしょうか。

それでは、投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 数学の投票結果をご報告いたします。

大日本図書3票、東京書籍1票、新興出版社啓林館1票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ということで、数学は大日本図書ということでございます。

それでは続きまして、理科に移ります。理科は5社ありますけれども、何かご意見ございますでしょうか。

小林委員、お願いいたします。

○委員（小林和子） 理科では実験をすることが多いものですから、その実験の方法とか手だてとか、そういうものがある程度きちっと記述されていたり、それに伴って危険を伴うこともあるので安全に配慮することとか、そういうようなこともおさえられているものがないと思います。

あと、5社の中で、随分差があったのが、1分野、2分野の配列の仕方、順番が違って、私はやはり自然界と無縁ではないので季節感に合うようなものがないかなと思いました。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

ほかには何かございますでしょうか。

私は、やはり観察・実験というのは理科に興味を持っていくのに大変重要だと思いますけれども、例えば観察とかうまくいかなかった場合とかそういうケースもあると思いますので、やはり図とか写真とかが大変見やすくクリアであるということは、とても大事なかなというふうに思います。

そういった意味で、非常に内容が充実しているということを考えて選びたいというふうに思っております。

では、ないようでしたら投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 理科の投票結果をご報告いたします。

大日本図書5票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

理科は大日本図書ということでございます。

続きまして、音楽・一般を行います。音楽・一般は2社ありますが、ご意見などございますでしょうか。

ないようですので投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） それでは、音楽の投票結果をご報告いたします。
教育芸術社 5 票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
音楽・一般は教育芸術社でございます。
続きまして、音楽・器楽合奏は 2 社ございますが、ご意見などございますでしょうか。
ないようですので、投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） それでは、器楽合奏の投票結果をご報告いたします。
教育芸術社 5 票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
器楽合奏につきましては、教育芸術社ということでございます。
続きまして、美術に移ります。美術は 3 社ございますが、ご意見などございますでしょうか。
ないようですので、投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） それでは、美術の投票結果をご報告いたします。
日本文教出版 5 票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
美術は、日本文教出版でございます。
続きまして、保健体育に移ります。保健体育は 5 社ございますが、ご意見などございますでしょうか。

私は、保健体育は非常に重要な教科であるというふうに思っておりますけれども、やはり今の中学生の心と体の発達、それといろいろな性のこと、それからストレス、そういった面からも非常に生徒たちがそれを見ていろいろ学べるような、そういった今日的な情報が充実しているといったことも大事なのではないかとこのように考えております。

ほかにはよろしいですか。

では、投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 保健体育の投票結果をご報告いたします。
学研教育みらい 5 票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

保健体育は、学研教育みらいでございます。
続きまして、技術・家庭、技術分野に移ります。こちらは3社ございますが、何かご意見などございますでしょうか。

それでは、ないようですので投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 技術・家庭、技術分野の投票結果をご報告いたします。
東京書籍5票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
技術・家庭、技術分野は、東京書籍でございます。
続きまして、技術・家庭、家庭分野に移ります。こちらは、3社ございますが、何かご意見などございますでしょうか。
昭島はとても食育にも力を入れていると思いますし、お弁当の日もございますので、そういった意味でそういう教科書の扱いやすさということも考慮したいと私は考えております。

そして科学的根拠という部分で、やっぱりビジュアルでいろいろな、普段家庭でやっていることを科学的に分析すると、といったアプローチも非常におもしろいなというふうに感じて教科書を拝見させていただきました。

ほかに、何かご意見ございますでしょうか。

では、投票のほうをお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 技術・家庭、家庭分野の投票結果をご報告いたします。
開隆堂出版3票、東京書籍1票、教育図書1票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
技術・家庭、家庭分野は、開隆堂出版となりました。
続きまして、外国語、英語に移ります。英語は6社ございますが、何かご意見などございますでしょうか。

よろしいですか。それでは投票をお願いいたします。

(投 票)

○指導課長（岡部君夫） 外国語、英語の投票結果をご報告いたします。
学校図書5票でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
英語は学校図書ということでございます。
以上で、各教科の審議採択が終了いたしました。議案32号の平成28年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択についてのうち中学校の採択結果を確認させていただきます。

国語「光村図書出版」、書写「教育出版」、社会(地理的分野)「帝国書院」、社会

(歴史的分野)「東京書籍」、社会(公民的分野)「東京書籍」、社会(地図)「帝国書院」、数学「大日本図書」、理科「大日本図書」、音楽(一般)「教育芸術社」、音楽(器楽合奏)「教育芸術社」、美術「日本文教出版」、保健体育「学研教育みらい」、技術・家庭(技術分野)「東京書籍」、技術・家庭(家庭分野)「開隆堂出版」、外国語(英語)「学校図書」、以上でございますが、決定したいと存じますがご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(紅林由紀子) ご異議ないようですので、これで決定いたします。

続きまして、特別支援学級の教科書について審議します。

先ほど、各特別支援学級設置校の校長先生からご説明がございましたが、平成28年度に小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、事前に提出されている報告書にあります教科用図書を使用することについてですけれどもいかがでしょうか、何かご意見ございましたらお願いいたします。

特にはよろしいですか。

それでは、お諮りします。報告書にあります教科用図書を平成28年度使用することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長(紅林由紀子) ご異議なしということで、平成28年度小・中学校特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、事前に提出されております教科用図書を使用することに決定いたします。

最後に、事務局からの説明のとおり、平成28年度に小学校で使用する教科用図書につきましては、平成27年度小学校で使用している教科用図書と同一の教科用図書を使用することといたします。

以上で、議案第32号の審議は終了いたしました。大変皆様お疲れ様でございました。

議案の審議が終わりました。本日は協議事項はございませんので、報告事項に移ります。

報告事項1「平成27年度昭島市一般会計第2号補正予算(案)〈教育委員会関係〉について」説明をお願いいたします。

○庶務課長(柳 雅司) 平成27年度昭島市一般会計第2号補正予算(案)〈教育委員会関係〉について、ご報告いたします。

この第2号補正予算につきましては、平成27年8月26日から開催を予定しています平成27年第3回昭島市議会定例会に提案を予定しているものでございます。

歳入の200万円につきましては、本年度創設されました特別支援教室設置条件整備費都補助金で、拝島第一小学校と拝島第三小学校の特別支援教室の改修経費及び教材等の購入経費に対応するものでございます。

歳出につきましては、指導課の教育相談事業費116万円でございますが、昭和町分室の改修工事に伴い、教育相談室及び適応指導教室を一時的に市民交流セン

ターに移転するための経費として計上いたすものでございます。

次に、庶務課の学校施設営繕経費と指導課の特別支援教育教材等経費でございますが、都補助金の対象となっている歳出でございます。拝島第三小学校の教室改修及び拝島第一小学校と拝島第三小学校の教材等の購入経費でございます。

拝島第一小学校の教室改修 70 万円につきましては、8 月に規定予算で実施することから補正予算に計上しておりません。そのため、歳入は 200 万円を計上しておりますが、歳出では 130 万円となっております。

次に、庶務課の学校施設整備費でございますが、拝島第二小学校の学区域において、将来、児童数が増加し教室数が不足することが見込まれますことから、校舎増築に伴う基本設計等を行う事業費を計上いたすものでございます。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

この件につきまして、何かご質問などございましたらお願いいたします。

特によろしいでしょうか。それでは、この件は終わりたいと思います。

続きまして、報告事項 2「平成 27 年度小学生英語チャレンジ体験事業及び中学生英語キャンプ事業実施報告について」お願いいたします。

○庶務課長（柳 雅司） 平成 27 年度小学生英語チャレンジ体験事業及び中学生英語キャンプ事業実施報告について説明いたします。

初めに、小学生英語チャレンジ体験事業でございます。

7 月 30 日から 8 月 1 日の 2 泊 3 日で、山梨県にあります調布市八ヶ岳少年自然の家で行われました J T B 東日本国際交流センターが企画した、アメリカンサマーキャンプに昭島市の児童 65 名、国分寺市の児童 45 名で参加いたしました。実施期間中は、けが・病気などなく、みんな元気で事業を終了いたしております。

天候は 3 日間ともおおむね良好で、すべて予定どおりにプログラムを実施できました。事業内容については裏面でございます。

次に、中学生英語キャンプ事業でございますが、小学生英語チャレンジ体験事業と同じ日程、場所で実施いたしました。参加人数は、昭島市の生徒 13 名、国分寺市の生徒 21 名、東大和市の生徒 30 名です。中学生につきましても、けが・病気などをすることなく、みんな元気で事業を終了いたしております。事業内容は裏面でございますが、ダンスパーティーやキャンプファイヤーにつきましては、小学生とともに実施いたしております。

なお、参加した児童生徒からは、実施期間中に感想文及び事業へのアンケートを提出していただきました。回収したアンケートでは、小中学校で「あまり楽しくなかった」と答えた子供が 1 名、中学生でいましたが、そのほかの参加者は「すごく楽しかった」「たのしかった」と回答しています。また、小学生で英語を頑張ろうと思ったかについては、1 名を除き「はい」と答え、中学生で「英語への関心が高まったか」については 2 名を除き「とても関心が高まった」、「少し関心が高まった」と回答がありました。

以上でございます。

- 委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。
この件につきまして、何かご質問やご意見などございますでしょうか。
- 委員（石川隆俊） ネガティブな反応をした人はどういうことだと理解されますか。
- 委員長（紅林由紀子） 「楽しくなかった」といった子はこういった背景があるのかということ、何かつかんでいらっしゃいますか。
- 庶務課長（柳 雅司） 分析してはいないですけれども、今までの例でいきますと、初めから行きたくない子供が参加してしまって、つまらなかったということがあるようでございます。
- 委員長（紅林由紀子） 中学生の参加、3市の中で昭島が一番少ないようですので、ぜひ中学生は参加して楽しかったという人を中心に、どんどんPRしていただければなというふうに思います。
- 庶務課長（柳 雅司） 今年度の募集の方法につきましては、先生が最初にこういう事業があるということで説明していただいて、学校の後ろのクラスの掲示板にその要綱を貼っていただき、各自希望者が申し込むというような形を取っていたんですけれども、もう少し募集の方法を変えまして、申込者が多くなるようにしたいと思っております。
- 委員長（紅林由紀子） はい、どうぞよろしく願いいたします。
ほかには何かございますでしょうか。
それでは、これは終わりたいと思います。
続きまして、報告事項3「平成27年度中学生海外交流事業(派遣)実施報告について」説明をお願いいたします。
- 庶務課長（柳 雅司） 平成27年度中学生海外交流事業(派遣)実施報告について報告いたします。
7月29日から8泊9日でオーストラリアのパースにあります、シェントン・カレッジに派遣性20名と引率者3名が訪れました。日程については裏面のとおりでございます。
生徒からは、英語がだんだんわかるようになり楽しかった、また、英語に加え、ジェスチャーなどのコミュニケーション能力が鍛えられた、オーストラリアの人たちはとても優しく、外国人に対する偏見がなくなったなどの感想がありました。
派遣期間中の生徒の体調については、軽いホームシックになった生徒が1名いましたが、すべての生徒が予定のプログラムに参加しております。
なお、この派遣事業に関する報告を9月12日の土曜日の「未来をひらく」発表会の中で派遣生により行います。
今回は、美越指導主事が引率をしておりますので、引率の報告をさせていただきます。

きます。

○指導主事（美越英宣） シェントン・カレッジスクールでの子供の様子について、2点報告させていただきます。

1つ目は学校での様子です。シェントン・カレッジでの授業は、高校3年生と日本語の授業を受けたり、中学校2年生と手話の授業を受けたり、ホストチューデント授業と一緒に受けたりしながら交流しました。シェントン・カレッジに行って3日目になると、多くの昭島の子供たちが英語で聞けるようになった、英語で話したり、言いたいことを表現して伝えることができた喜びの報告をしてくれました。

2つ目は、ホストファミリーとの交流です。昭島の子供たちは全員オーストラリアにいる間、ホームステイをさせていただきました。休日にはホストファミリーが動物園やフリーマントルなどの世界遺産に連れて行ってくれたり、ホストチューデントと料理を一緒につくったり、日本語をこちらが教えたりして交流を図りました。オーストラリアの最後の日、ホストファミリーと昭島の子供たちでさよならパーティーを開きました。昭島の子供たち20人で日本の文化を発表し歌を披露しました。最後には、昭島の子供たち一人ひとりがホストファミリーに感謝の手紙を読み、涙なみだで読み上げられない子供、ホストファミリーと抱き合い、感動を分かち合う子供など、日本に帰りたくない、かけがえのない日々になったと感じました、というコメントを残してくれました。

昭島の子供たちはこの交流で充実した日々を過ごすことができました。

以上となります。

○委員長（紅林由紀子） ありがとうございます。

ただいまの報告につきまして、何かございますでしょうか。

大変充実した交流事業、派遣事業だったというふうに推察申し上げます。また「未来をひらく」発表会では、子供たちの生の声も聞けると思いますので、どうぞ参加いただければというふうに思います。お疲れ様でした。

それでは、続きまして報告事項4「昭島市立学校学区の変更について」説明をお願いいたします。

○指導課長（岡部君夫） 昭島市立学校学区の変更についてご報告いたします。

平成25年2月の昭島市立学校適正規模適正配置等審議会により出された答申に基づき、平成28年4月からの小中学校と瑞雲中学校の通学区域の変更を予定しております。学区変更実施予定地区は、別紙1、別紙2に記載のとおりでございます。

現在、武蔵野小学校の通学区域は、大部分が瑞雲中学校の通学区域となっておりますが、中神町の一部が昭和中学校の通学区域となっております。このため6年生の大部分が瑞雲中学校へ進学し、昭和中学校へ進学するのは少数となっております。答申の中でも小学校の通学区域と中学校の通学区域との関わりにつきましては、同一の小学校児童が可能な限り同じ中学校に進学するよう通学区域の整合性を図ることが望まれるとされており、瑞雲中学校と昭和中学校の学区の見

直しについても述べられております。これらのことから武蔵野小学校の通学区域をすべて瑞雲中学校の通学区域に変更するものでございます。

地域への周知方法についてですが、「広報あきしま」9月1日号に変更についての記事を掲載し、あわせて該当地区に住む児童の保護者宛に通知を送付する予定でございます。

以上でございます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

この件につきまして、何かご質問などございますでしょうか。

ちょっとよくわかっていなくて申しわけないんですけども、これは予定ということで、このあと意見をいただいて、それから決定というような順なんでしょうか。

○指導課長（岡部君夫） それについては「広報あきしま」で周知をして、意見をお伺いして来年度の4月から行うものでございます。

一応今のところ、ここの地区の自治会長さんやブロック長さんのほうにも通知、お話等はさせていただいているところでございます。

○委員長（紅林由紀子） 特にその部分では大きな問題はないですか。

例えば、瑞雲中のほうの空き教室の問題とか、通学路の危険区域の問題とか、そういった点はいかがでしょうか。

○指導課長（岡部君夫） 特に瑞雲中学校のほうで空き教室ということについては心配ないと思います。通学路の安全については、これは配慮していかなければいけない事項だと考えてございます。

○委員長（紅林由紀子） 中学生ですからね、小学生ほどは問題は大きくないと思うんですけども。

何かございますでしょうか。また、意見が市民の皆様から寄せられた暁には、またお知らせいただければというふうに思います。

それでは、この件は終わりたいと思います。

では、続きまして、報告事項5「昭和町分室改修及び補強工事について」説明をお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 報告資料5についてご報告いたします。

現在、昭和町分室については教育委員会では教育相談室、もくせい適応指導教室、郷土資料室が利用している状況でございます。このたび昭和町分室耐震診断調査において所要の耐震性は確保されているものの、一部の箇所において補強等が必要との指摘を受けたことから、昭和町分室について補強工事を行うことになりました。工事が予定されている期間につきましては、11月1日から今年度末の3月30日までを予定しております。

なお、若干の余裕を含めて、再開は平成28年5月1日以降となっております。

これに伴いまして、一部機能として移転先としまして、教育相談室を工事期間の間は市民交流センター会議室に移転します。もくせい適応指導教室につきましては、朝日会館保育室に一時移転させていただきます。なお、社会教育課管轄の郷土資料室については工事期間は休止という形を取ります。

周知方法につきましては、「広報あきしま」9月1日号及びホームページに掲載するとともに、昭和町分室前の工事に伴う移転先等を含めた案内板を設置する予定であります。

以上で報告を終了いたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

耐震のための改修工事ということで、移転と閉鎖する施設があるということでございますけれども、何かございますでしょうか。

少し長い期間になりますけれども、ご迷惑をおかけするかと思いますけれどもどうぞよろしく願いいたします。

それでは、この件は終わりました、続きまして報告事項6「未来をひらく」発表会の実施について」説明をお願いいたします。

○指導主事（美越英宣） 報告資料6、未来をひらく発表会の実施について報告いたします。

まず、目的についてです。

昭和57年1月1日の「青少年とともにあゆむ都市宣言」を踏まえ、小・中学生の意識の高揚を図り、この宣言の精神を実践活動につなげていくために、小・中学生の考えを作文、意見文にまとめ発表するとともに、英語による中学生の主張や、海外での体験活動の発表を通して、情操を育て、健全育成の一助とすることです。

平成27年9月12日土曜日、午後1時から昭島市役所市民ホールで実施します。プログラムとして、第1部は第33回子どもの主張意見文コンクール、第2部は第4回中学生英語スピーチコンテスト発表、第3部は昭島市中学生海外交流事業派遣報告会を予定しております。

以上で報告を終了します。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

「未来をひらく」発表会でございますけれども、この件に関しまして何かございますでしょうか。

よろしいですね。それでは、9月12日この場所ということでございますので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、報告事項7「昭島市中学生ネットいじめ防止サミットの実施結果について」報告をお願いいたします。

○統括指導主事（稲富泰輝） 報告資料7についてご報告いたします。

平成27年7月18日土曜日、市立6中学校中学生17人が集まり、昭島市中学生ネットいじめ防止サミットを実施いたしました。

内容として、各中学校の取り組みの発表、提案をしたあとに、協議を3グループに分かれて行いました。協議で出した内容として、ネットいじめを防止する取り組みで、SNSの取扱い、個人情報、また、アイメッセージ文という、自分の立場で発信するということが提案されました。

いじめ全体を防止する取り組みとしては、呼びかけ活動、生徒会で「いじめ投書箱」をつくる、いじめ防止ポスターを作成する、いじめアンケートを実施することなどが自主的に出されていました。

最後の部分の提案されたスローガンとして、「安心できる友達になろう」、「勇気ある一言がハートを救う」などが出されている状況でございます。

今後はあきしまの教育にその内容を掲載し、全児童生徒が見られるようにするとともに、各中学校で具体的な取り組みを今後進めてまいります。

以上で報告を終わります。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

この件につきまして、何かご質問などございますでしょうか。

私も当日、傍聴させていただきましたけれども、本当に生徒の皆さんが主体的に話し合い活動に望んでいて、大変たくましいなというふうに感じました。と同時に、やはり生徒会の生徒さんたちは人数が限られているので、ある意味、同じ悩みを抱えるよその学校の生徒会同士をつながり、そうそう、うちもそう、みたいな、そういう共感できる部分がお互いに見つけられたのもすごくいい時間だったんじゃないかなという感想を持ちました。

またこのような、子供たちが主体的に自分たちの問題に対して取り組めるような取り組みを、またお考えいただければというふうに思います。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

ほかにはよろしいですか。

ではこれは終わります、続きまして報告事項8「残堀川調節池運動施設建設計画について」説明をお願いいたします。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 報告事項8、残堀川調節池運動施設建設計画について、資料に基づきご報告申し上げます。

立川基地跡地、昭島土地区画整理事業の事業区域内で現在整備が進められている残堀川調節池について、平常時の上部利用計画として、市民が有効利用できる運動施設整備計画の検討を進めております。その内容についてご報告申し上げます。

最初に、調節池の全体面積でございますが、約5ヘクタール、平常時に運動施設として利用できる土地面積といたしましては、約3.2ヘクタールでございます。また、この調節池の計画貯留料は6万立方メートルでございますが、運動施設のための造成や工作物等の容積を差し引いた要領が6万立方メートル以上でなければ調節池の機能として不十分なものとなります。結果、全体貯留料が、計算上6万2,635立方メートルで、土地の維持造成や運動施設工作物等による減少量が1,147立方メートル、これらを全体貯留可能量から差し引くと、6万1,488立方メートルで、計画貯留料を満たすことができるという計算になりました。

続きまして、運動施設の概要についてでございますが、カラー刷りのA3の資料をご覧ください。図面上部が多目的広場で、イメージとして、野球、サッカー場の線を引かせていただいておりますが、そのほかには、クリケットやグラウンドゴルフ、イベントなどにも使用できるような施設といたします。そのほかには、テニスコート4面、スケートパークを1,000から1,500平米程度設置してまいります。また、駐車場80台程度、駐輪場100台程度の設置も予定しております。

この調節池は、昭島都市計画道路3・2・11号の西側に接する形で配置されており、園路については平日はこの図の左側に記載のある南側道路を利用し、休日については北側園路を解放し、行き来ができるようにする予定です。また北側上部の水没しない場所に管理棟を設置する予定でございます。

以上のような運動施設を予定しておりますが、調節池としての機能を勘案し、水没したあとの復旧を考えますと、復旧しやすいシンプルな施設内容にしたほうが現実的な部分もございます。今後、東京都との協議を進める中で各施設の設置場所などについて、上部利用としてふさわしいものかどうかを含めてさらに検証を進め検討してまいります。

続きまして、今後の予定でございますが、現在東京都が調節池設置に向け工事を進めておりますが、工事期間につきましては、少なくとも平成28年度末まで要するとのことです。したがって、平成27年度末で東京都の調節池整備工事が完了し、平成28年度から運動施設設置の工事着手を予定しておりましたが、現在の進捗状況では、予定を変更せざるを得ない状況でございます。本年度予定しておりました詳細設計の策定につきましては、現時点では延期を予定しております。今後も残堀川調節池運動施設設置に向け東京都と協議を進めてまいります。新たな屋外運動施設の設置に向け計画を進めてまいります。

以上、ご報告申し上げます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございました。

○委員（石川隆俊） これは残堀川というのは狭山池から流れてきて多摩川に入りますよね、増水して溢れちゃうという可能性は、何年に一遍ぐらいあると考えているんですか。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 残堀川の増水に関してなんですけれども、現在、昭和記念公園のプール、そこの西側のほうに仮の調節池を設置してございます。東京都さんのほうで、それが10年前に入ったというお話を私も聞いてはいたんですけれども、実は今年の7月、先日の台風12号が来たとき、そこに少し入ったということを知っております。あの時、昭島市では時間30ミリから40ミリ降ったということなんですけれども、今のお話のようにこの川は瑞穂、村山のほうが中心になっておりまして、そちらのほうに雨量計がないものですから、どのぐらい降った量というのはちょっとわからないんですけれども、7月に入ったという事実がございました。

○委員長（紅林由紀子） ほかに何かございますでしょうか。

ちょっと工事がずれ込んでいるということですので、また何か進展がございましたらご報告いただければというふうに思います。

それでは続きまして、報告事項9「第61回昭島市新春駅伝競走大会について」説明をお願いいたします。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 今年度で第61回を数えます新春駅伝競走大会についてご報告申し上げます。

今年度の開催日は、平成28年1月10日、日曜日を予定しておりますが、開会式は昨年同様、光華小体育館で行う予定です。午前8時30分の中学生男子の部を最初に順次スタートいたします。以下、コース、種目、参加資格につきましては例年どおり変更はございません。

続きまして、記録計測等でございますが、今年度より記録計測及び集計につきましては、電子チップ方式を導入し、より正確な記録計測及び迅速な集計を実施いたします。この電子チップ方式でございますが、具体的には、たすきに電子チップを装着し、集計所に電子チップの読み取り装置を設置し、その情報をパソコンで集計・分析し、今まで手作業で行っていた個人記録や、チームとしての集計を迅速かつ正確にコンピューター処理するものでございます。なお、万が一このシステムが正常に作動しなかった時のフォローといたしまして、バックアップシステムもあらかじめ見込んでおります。

続きまして、参加費でございますが、電子チップの導入により、かかる経費が約100万円ほど見込んでおりますが、電子チップを導入することにより人的配置等を削減等を図ることができ、その部分を差し引くと、昨年より約60万円の費用の増額が見込まれます。そのため、今まで一般一部1,500円、一般二部、女子、壮年の部に関して1,600円の参加費を徴収しておりましたが、増額した部分を補填するため、1チーム5,000円といたします。なお、高校生のみで編成されるチームは、1チーム3,000円としました。高校生以下で編成されるチームは、1チーム3,000円で、市内在住・在勤・在学の中学生のみで編成されるチームは、全額免除といたします。今後、申込期間を平成27年10月20日、火曜日から11月6日、金曜日まで設定し、参加者を募ってまいります。

なお、参考資料として裏面に近隣市で実施されております駅伝大会の概要を添付させていただきました。そこに記載されておりますほとんどの市は、既に電子チップを導入しており、参加費用につきましては1万8,000円から1,500円までさまざまでございますが、昨年、値上げを行いました武蔵村山に確認したところ、参加者からの値上げによる苦情等はなかったということで聞いております。

以上、簡単ではございますがご報告とさせていただきます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

新春駅伝大会についてでございますが、何かございますでしょうか。電子チップ方式ということで楽しみだなというふうに思っております。

では、この件は終わりたいと思います。

続きまして、報告事項10「第62回昭島市民体育大会について」説明をお願いいたします。

○スポーツ振興課長（武藤 茂） 市民の健康づくり、競技力の向上及びスポーツによる地域交流を目的に、毎年開催しております第 62 回昭島市民体育大会について資料に基づき報告させていただきます。

最初に開会式でございますが、期日は9月13日、日曜日の午前10時からでございます。会場は昨年と同様に KOTORI ホールにて開催いたします。式典の内容につきましては資料のとおり、例年のとおりでございますのでよろしくお願いいたします。

なお、委員の皆様には既にご案内を配布させていただいておりますが、当日は舞台の上に着席していただきますのでよろしくお願いいたします。

続きまして、2ページ目をご覧ください。会場の案内図でございます。座席表になりますが、体育協会及び自治会の参加者の皆様には、所定の場所に着席いただき、選手入場はプラカード及び協会旗のみの行進になります。

続きまして、3ページ目が種目別大会の日程表、4ページ目が自治会ブロック大会の日程表になりますのでご確認のほどよろしくお願いいたします。

以上、大変簡略な説明でございますが、ご報告申し上げます。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

第 62 回昭島市民体育大会と開会式についてでございますが、何かございますでしょうか。

よろしいですね。それでは当日どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、報告事項 11「昭島市民図書館協議会委員の委嘱の承認について」説明をお願いいたします。

○市民図書館長（石川千尋） それでは昭島市民図書館協議会委員の委嘱についてご報告いたします。

図書館協議会は、図書館法第 14 条により、「図書館の運営に関し、図書館館長の諮問に応ずるとともに、図書館で行う図書館方針について館長に意見を述べる」が定められております。昭島市民図書館協議会委員の選任につきましては、本来であれば教育委員会の議決をいただくものでございますが、まことに申しわけございません。協議会の第 1 回の定例会が毎年 8 月に行っており、第 1 回目の協議会の日程を委員さんのスケジュールを調整いたしましたところ、昨日 8 月 19 日に協議会をさせていただきました。そのため教育委員会にお諮りするいとまがなく、昭島市教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条により、教育長の承認をいただき、ここに報告いたすものでございます。今後このようなことのないよう事務処理に十分注意してまいります。

なお、今回新しくなられました委員は、金井康氏、美坐孝明氏、久保真由美氏、吉野友子氏、原幸子氏、田副彰三氏でございます。任期は 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日まででございます。まことに申しわけございませんでした。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

ただいまの件はよろしゅうございますか。ということでございますので、これ

からよろしくお願ひいたします。

では以上で、報告事項 1 から 11 までの説明が終わりました。報告事項 12 から 19 につきましては資料配付のみとなっておりますが、事務局への質問などございましたらお願ひいたします。

(12) 平成 26 年度昭島市学校給食費会計決算報告について

(13) 子ども読書活動推進事業「夏休み工作教室」の実施報告について

(14) 子ども読書活動推進事業「夏休み楽しい科学あそび」の実施報告について

(15) 「第 7 回あきしま語りのまつり」の実施報告について

(16) 子ども読書活動推進事業「0 歳からのわらべうたライブ」の実施について

(17) 子ども読書活動推進事業「聞かせ屋。けいたろうのよみきかせ MiniLIVE」の実施について

(18) 昭島市公民館主催事業について

(19) 第 56 回関東甲信越静公民館研究大会について

でございますが、何かございますでしょうか。

(14) の「夏休み楽しい科学あそび」につきまして、うちの子が参加させていただきまして、大層楽しんでまいりました、ありがとうございます。

ないようでしたら続きまして、その他の事項について事務局から何かございますでしょうか。

ないようですので、最後に次回の教育委員会日程についてお願ひいたします。

○庶務課長（柳 雅司） 次回の教育委員会定例会の日程でございますが、9 月 24 日木曜日、午後 2 時 30 分から、場所は市役所庁議室で行います。

なお、この日ですが定例会の前に、平成 28 年度に事業について委員の皆様と話し合う会議を設けようと考えておりますので市役所に 1 時半に集合いただきたいと思ひます。詳細につきましては、後日連絡いたしますのでよろしくお願ひいたします。

○委員長（紅林由紀子） はい、ありがとうございます。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

何かございますでしょうか。

それでは、大変長時間にわたりお疲れ様でした。第 8 回定例会を閉会いたします。お疲れ様でした。

以上

月 日

署 名 委 員

5 番 委 員

1 番 委 員

調 整 担 当